

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名 大阪府立野崎高等学校

校長名 田中眞

開催日時 令和6年7月4日(木) 15時30分～16時40分

開催場所 野崎高校 校長室

出席者《委員》

中嶋 正人 大阪産業大学 入試センター次長  
山崎 政範 大阪教育大学 附属学校統括機構特別参与 学長補佐  
長谷 敦 大東市立四条中学校長  
尾崎 明幸 大東市文化財保護審議会委員  
梅本 正直 大東市人権教育指導員 社会教育主事  
野村 洋二郎 本校PTA 会長

出席者《事務局》

田中校長 勝村教頭 西田教頭 高須事務長 宮脇首席 大倉教諭  
議事録作成：中西教諭

【協議資料】

- ①大阪府立野崎高等学校運営協議会 実施要項
- ②大阪府立野崎高等学校運営協議会 名簿
- ③令和5年度学校経営計画及び学校評価
- ④令和6年度学校経営計画及び学校評価
- ⑤スクールミッション・スクールポリシー
- ⑥令和6年度 使用教科書一覧
- ⑦野崎高校3年間のキャリア教育
- ⑧令和5年度 生徒支援部総括  
野崎高校 生徒の困り感に寄り添う 校内セーフティネット
- ⑨人権だより (VOL1～3)
- ⑩令和6年度 教務管理部(総務) 重点目標  
体験入学会「チャレンジ野崎」&学校説明会方針

## 次第（議題）

- 1 開会（資料①）
  - 会長、副会長の決定
    - ・会長挨拶
    - ・校長挨拶
  - ・出席者紹介（資料②）
- 2 令和5年度学校経営計画及び学校評価について（資料③）
- 3 令和6年度学校経営計画及び学校評価について（資料④）
- 4 スクールミッション・スクールポリシーについて（資料⑤）
- 5 令和7年度教科書採択事務について（資料⑥）
- 6 進路指導の状況について（資料⑦）
- 7 生徒支援の状況について（資料⑧）
- 8 人権教育の状況について（資料⑨）
- 9 広報活動の状況について（資料⑩）
- 10 その他
- 11 協議
- 12 閉会

## 議事録概要

### 《次第》

- 1 開会（資料①）
  - 会長決定（立候補なしのため、原案より中畠委員）
  - 副会長決定（立候補なしのため、原案より山崎委員）
  - 校長挨拶
    - ・生徒の様子・教員の様子
    - ・本校の取り組み（新聞記事など紹介）
  - 出席者紹介（資料②）
    - ・各自 挨拶・自己紹介
- 2 令和5年度学校経営計画及び学校評価について（資料③）
  - 【事務局より】
    - 昨年度末に数字が確定した項目の説明
      - ・検定試験・遅刻数・職員時間外勤務など

### 3 令和6年度学校経営計画及び学校評価について（資料④）

#### 【事務局より】

- 昨年度から変更・引き続き大事にしたい項目の説明
  - ・ヘルスアッププロジェクトを年2回に
  - ・通級指導入級者現在2名
  - ・職員の負担にならないよう、学校ブログ約200回の発信 など

#### 【委員より】（項目2・3通じて）

- やはりまずは登校させることが大事。その方法を考えていきたい。
- 学校全体としての遅刻は多いが、1限目の授業には間に合っているのか。
- 始業時間の再考など、取り組みの検討を。
- 朝のショートホームルーム（以下、SHRという）は遅刻防止のためか。遅刻防止のためならただやるだけでなく、何らかの連帯した取り組みがあってもよいのでは。
- 生徒を肯定する指導のおかげで、生徒が変化してきたように思う。

#### 【事務局より】

- 1限の遅刻はやはり多い。
- 時間割は特定の科目が早い時間にかたよらないよう調整している。
- 他校で始業時間を変更しても遅刻は大きく変わらなかった。中学校で不登校だった生徒が本校に入学して努力し、登校できるようになった結果としての遅刻もある。
- SHRは少なくとも十数年以前から行っているが、当初の理由は定かではない。登校遅刻については通学時間や家庭事情などさまざまである。個々の生徒に配慮しながら指導している。ただし、登校後の授業遅刻については条件が同じであるため、しっかりと指導している。

### 4 スクールミッション・スクールポリシーについて（資料⑤）

#### 【事務局より】

- 昨年度の資料からの追加記載の説明
  - ・（2）カリキュラムポリシーの2項目めに「学校行事等の企画・運営を行う機会を充実させるなど」を追加。

#### 【委員より】

- 特になし

### 5 令和7年度教科書採択事務について（資料⑥）

#### 【事務局より】

- 資料の説明

#### 【委員より】

- 特になし

## 6 進路指導の状況について（資料⑦）

### 【事務局より】

- 資料の説明
  - ・本校のキャリア指導の取り組み
  - ・47期生進路希望状況・46期生進路状況

### 【委員より】

- 46期、47期とも卒業数が入学時よりずいぶん減っている。これは転学・退学どういう内訳になるか。進路実績だけでなく、生徒の継続率も課題ではないか。

### 【事務局より】

- 転学と退学についてはおよそ半々の割合。少しでも長く在籍できるよう働きかけをしているが、欠席や大幅遅刻が増えての原級留置、そこからの転退学は大きな課題である。現状、転退学率は高くなっているが、転退学数は約10年ほとんど変わっていない。留年して学校に残る者が少なくなったこと、入学母数（入学者数）が少なくなったことで、継続率は低くなってしまっている。

## 7 生徒支援の状況について（資料⑧）

### 【事務局より】

- 資料の説明
  - ・指導件数・個別の指導計画・SC・SSW・CC・ココアル・通級指導

### 【委員より】

- 資料⑧-2、SC・SSWの活用実績はどんなものか。
- CCは全高校配置なのか。

### 【事務局より】

- 活用実績の詳細な人数や個別の内容は出ないが、週1回の来校につき、概ね3人の生徒（保護者）の対応をいただいている。35週間で計算して、のべ人数で年間およそ100人程度が活用。
- ・CCは各校で公募を行い、選考している。

## 8 人権教育の状況について（資料⑨）

### 【事務局より】

- 昨年度の取り組み、資料（人権だより）の紹介

### 【委員より】

- 人権教育をこのまま進めてほしい。自分が大事にされているから他人も大事にできている。
- 文化祭でPTAとしても取り組みをしたい。
- 11月の四条フェスティバルに、野崎高校の生徒にぜひ参加していただきたい。

## 9 広報活動の状況について（資料⑩）

### 【事務局より】

#### ○資料の説明

- ・ 広報活動・学校説明会・パンフレット
- ・ 昨年度の体験入学・説明会の参加状況と実際の入学者の相関性を踏まえ、本年度は7月に「ミニチャレ」を設定。
- ・ 「野崎に来てよかった」の生徒の声を、新パンフレットに掲載して発信。

## 10 その他

### 【委員より】

- 野崎にしかない「野崎の魅力」を発信できたら良い。たとえば、太鼓などで有名になっている卒業生もいる点などを発信すべきである。
- いろいろな学校含め、校則について考えることは多いが、野崎は生徒を縛りつけずに指導できているところがいい学校と思う。

## 11 協議

具体的なものはそれぞれの項目で適切に協議し、承認された。

今後は委員からの意見、指摘などを踏まえて、学校運営の事本的な方針や取り組みの中に、適宜実行したい。

## 12 閉会

#### ○教頭より今年度の協議会の予定

#### ○校長挨拶

- ・ 体育大会は、生徒と教員が一体となって取り組んでいて、本校らしい良いものであった。

以上